

令和8年度の新潟県中学校体育連盟陸上競技事業におきまして下記の通り進めていく予定です。今後、内容の変更がある場合は、その都度お伝えいたします。なお、地域クラブ活動につきましては、新潟県中学校体育連盟が承認した団体のみ対象となります。

令和8年度 共通確認事項（暫定）

I 陸連登録について

陸上競技・駅伝競走ともに日本陸連登録を行う（競技会出場者は必須）。

令和8年度も引き続き、学校と地域クラブの2重登録が可能（地域クラブの複数登録は不可）である。

拠点校部活動（拠点校に依頼し、承認された学校）については地域クラブとの2重登録は原則、不可とする。

「学校」と「地域クラブ」の2重登録や、複数の「地域クラブ」に所属している場合は、当人の希望のみならず活動実態を踏まえ、各団体代表者双方でよく相談した上で大会申込み・陸連登録を進めていくこと。

II 同一所属からの出場について

1 全日本中学校陸上競技選手権大会【※以後、全日中陸上】につながる県内予選大会

新潟県中学校陸上競技大会【※以後、県総体】（各地区・新潟市陸上競技大会含む）・全日本中学校通信陸上競技大会新潟県大会【※以後、通信陸上】・県四種突破会は同一の所属から参加する。途中で変更してはならない。つまり、開催期日のもともと早い各地区・新潟市陸上競技大会の所属が夏の全日中陸上まで続くことになる。（例：各地区・新潟市陸上競技大会は「学校」で順位通過→県総体は「地域クラブ」で申込み×、その逆も×。途中「地域クラブ」を移籍しての参加×）

なお、新潟県中学校駅伝競走大会【※以後、県駅伝】（各地区・新潟市駅伝競走大会含む）の所属については、全日中陸上につながる県内予選大会と同一でなくてよい。但し、「特例・細則」を遵守しなければならない。（※競技部細則Q&Aに記載）

2 全日中陸上につながらない競技会への参加

2重登録者の所属は同一でなくてよい。（上記II-の1を除く競技会 陸協主催選手権・記録会・U-16など）中体連主催新人大会は各都市中体連の方針に従う。

III 通信陸上について

1 出場資格

(1) 例年通り、記録会等の競技会において参加標準記録を突破した個人（チーム）が出場できる。

(2) 個人種目

- ① 通信陸上に「学校」で出場するために→記録会等競技会に「学校」で出場し記録突破する。
- ② 通信陸上に「地域クラブ」で出場するために→記録会等競技会に「地域クラブ」で出場し記録突破する。
- ③ 2重登録者は「学校」「地域クラブ」のどちらで出した突破記録であっても、その個人の持ち記録として処理し大会申込みを受け付ける。（例：記録会に「学校」で出場し記録突破→通信陸上に「地域クラブ」で出場○、その逆も○）

(3) リレー

- ① 通信陸上に「学校」で出場するために→記録会等競技会に「学校」で出場し記録突破する。
- ② 通信陸上に「地域クラブ」で出場するために→記録会等競技会に「地域クラブ」で出場し記録突破する。
- ③ 2重登録者は「学校」「地域クラブ」の両方を兼ねることができる。（例：A記録会に「地域クラブ」で出場し記録突破、更にB記録会に「学校」で出場し記録突破→「地域クラブ」「学校」の両チームともに通信陸上に出場○）
- ④ 2重登録しており同一団体で編成されたチームが記録会等競技会に出場し記録突破した場合、「学校」「地域クラブ」にかえて通信陸上に出場することができる。（例：記録会に「地域クラブ（同一学校で編成）」で出場し記録突破→通信陸上に「学校」で出場○、その逆も○）

(4) 地域クラブ活動団体のリレーチームの編成については下記（VII 競技部細則）のとおり。

2 通信陸上・北信越総合競技大会（※以後、北信越大会）の実施種目・出場資格について

令和8年度通信陸上は令和7年度に引き続き1年男子1500mをオープン種目として実施する。

令和8年度北信越大会富山県開催は、令和7年度と同種目での開催となり通信陸上の上位3名が出場資格を得ることができる。（同一団体からの出場人数制限あり）

令和9年度以降は、令和9年度全日中陸上の実施種目等の正式決定を受けて大幅な運営の変更を行う。

IV 県総体について

1 出場資格

各地区・新潟市陸上競技大会において上位者が県総体への出場資格を得ることができる。（同一団体からの出場人数制限あり）

2 今後の開催について

令和8年度について、暑熱対策による競技日程等の変更があるが、概ね例年通りの大会を行う。令和9年度以降は、令和9年度全日中陸上の実施種目等の正式決定を受けて、通信陸上同様に運営の変更を行う。

V 県駅伝について

1 出場資格

(1) 各地区・新潟市駅伝競走大会において上位チームが県駅伝への出場資格を得ることができる。

(2) 地域クラブの駅伝競走チーム編成については下記（下記 VII 競技部細則）のとおり。

2 今後の開催について

区間数減少など全日本中学校駅伝競走大会の動向を見ながら、本県も運営準備を進めていく。

VI U-16陸上競技大会について

新潟県代表枠種目についてはランキング選考とする。4月～8月に公認競技会で出した最高記録（ポイントランク）の1位を新潟県代表とする。詳細は、後日、選考についての実施要項を提示する。

VII 令和8年度競技部細則について

リレー（駅伝）は、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、または、「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」で参加することができる。※抜粋

これまで日本中体連陸上競技や近隣県専門部で議論し続けてきた経緯がある。全国的にまだ足並みが揃っていないものの、新潟県として競技会運営準備における効率化なども踏まえて、今後を見据えた判断をする。

《地域クラブが単独チーム編成でリレーおよび駅伝競走に出場できる条件》

『地域クラブに所属し陸連登録している中学生の編成』

<補足>

令和7年度競技部細則に明記されていた「選抜等」の文言が削除された。上記のとおり、これまでの規制条件を大幅に見直したものとの配慮すべき点はある。特に勧誘活動について。例えば、特定の（競技力の高い）中学生や一部の学校だけを対象とした勧誘活動を行う。これは、文科省（総合的ガイドライン）や中体連の目指す姿とは若干異なると考える。同時に、競技部細則の地域展開の「受け皿」とは判断しがたい。周りの学校や地域クラブの中学生を含めた関係者の多くが疑問を抱くことのないようにしたい。

これまで新潟県中体連陸上競技は長年、「新潟はひとつ」を合い言葉に、一体となり大会運営や強化活動に取り組んできました。勝利よりも、中学生の心身成長のための支援を優先してきた時も多々ありました。毎年のように方針やルールの転換が求められている中、判断・決定したことが、その後どのような方向にむかうのか分からぬ部分もあります。それでも、これまで培ってきた新潟中学陸上のよさを失うことなく、新しい風を吹かせつつ、陸上競技に関わる多くの支援者が連携し続けていかなければならぬと考えます。令和9年度もよろしくお願いいたします。

令和8年1月13日現在

不明な点がありましたら各地区陸上競技専門部に問い合わせ願います。